【技術分類】４－３－６　筐体関連／枠関連／玉抜きレバー
【技術名称】４－３－６－１　玉抜きレバー・ボタン

【技術内容】
上皿もしくは下皿から玉を抜くために操作する玉抜き装置を玉抜きレバー（ボタン式では玉抜きボタン）と呼ぶ。玉抜き装置はレバー式とボタン式の 2 種類があり、また枠の形状（皿一体型もしくは上下皿分離型）によっても異なる。

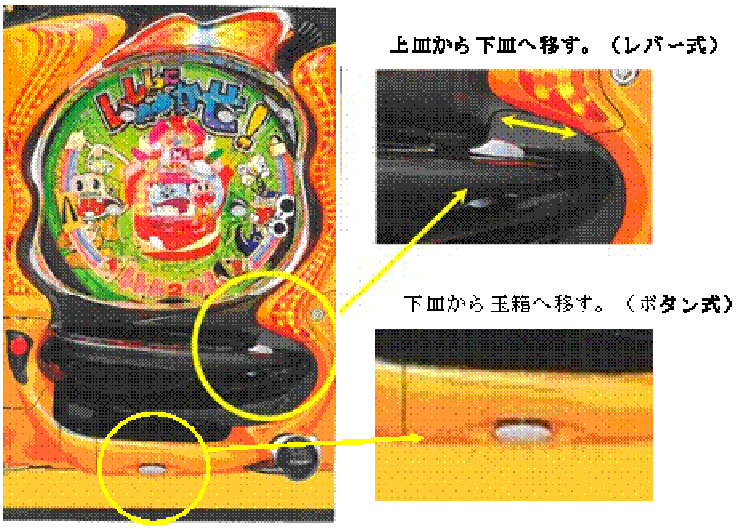
昔はレバー式が主流であったが、最近では上下皿一体枠の普及に伴い、利便性と枠の構造上の設計を考慮してボタン式を搭載する例が増えてきている。

基本的に上下皿の分離型タイプの枠では、1.上皿から下皿へ移す、2.下皿から玉箱へ落とすために用いる、といった 2 種類の装置が搭載されている。

一方、上下皿一体枠では大当たり発生時に玉箱へ玉を移すために用いるボタンのほかに、遊技を中止する際に用いられる皿上の全ての玉を玉箱に移すボタンの 2 種類が搭載されている。前者を押した際には大当たり消化の障壁にならないよう､ボタンを押しても少量の玉は皿上に残された状態となる。

また、ボタン式、レバー式共に、連続操作がしやすいようにロックされた状態で固定される機能が付与されている場合も多い。

【図 1】玉抜きレバーの例

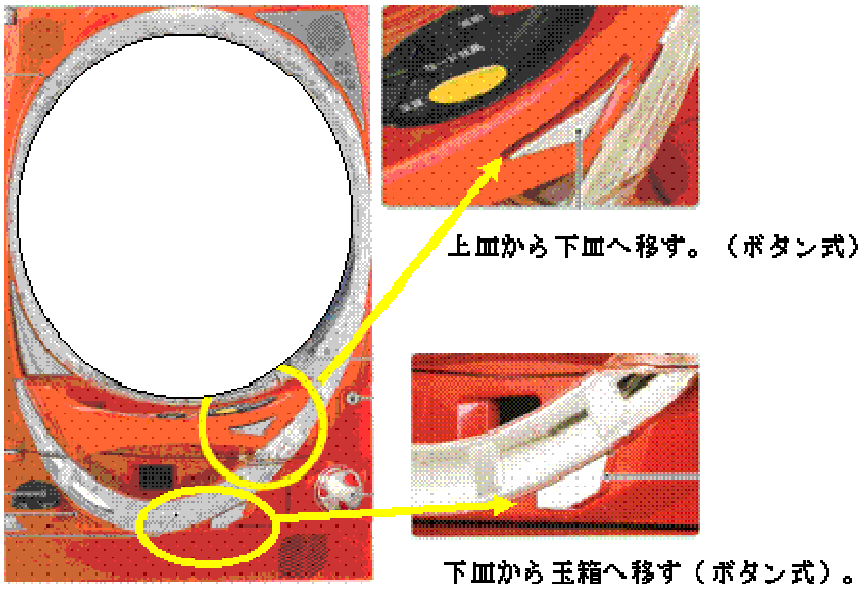


上下皿分離枠では、皿上の玉をすべて玉箱に落とす場合は、上のボタンを押して一旦下皿へ落とした後、再度下のボタンを押して玉箱に落とす 2 段階の操作が必要となる。

出典：株式会社大一商会、レレレにおまかせ※1！カタログ、2004 年 4 月
を元に改変

【出典機種】
レレレにおまかせ※1：株式会社大一商会

【図 2】玉抜きボタンの例



出典：株式会社ニューギン、煌※2 枠取扱説明書、8 頁、11 頁
を元に改変

※1「レレレにおまかせ」：株式会社大一商会の登録商標
※2「煌」：株式会社ニューギンの登録商標